

2025 年度 春学期 第 1・第 2 クォーターの授業評価を終えて

臨床心理学部長 青木 聡

2025 年度 春学期 第 1・第 2 クォーターに実施された授業評価アンケートの集計結果がまとまりました。貴重な時間を割いて回答してくださった学生の皆様に、心より感謝申し上げます。また、アンケートの実施に際しご協力いただいた教職員の皆様、ならびに分析に携わってくださった関係者の皆様にも、厚く御礼申し上げます。

本アンケートは、授業の「良し悪し」を単に評価するためのものではありません。教員一人ひとりが自身の授業を振り返り、改善へとつなげるための羅針盤であり、学生の皆様と共に学びの場をより良いものへと進化させていくための対話の機会です。学生の皆様から寄せられた率直な回答や具体的なコメントは、授業改善に向けた貴重なフィードバックとなります。

アンケートは全 15 項目で構成されており、Q1～Q6 は「教員努力（教員による授業への取り組み）」、Q7～Q9 は「学生努力（学生による取り組みと成果）」、Q10～Q12 は「授業に対する満足度（学びの成果）」、Q13・Q14 は「出席率・平均学習時間」、Q15 は「自由記述」に区分されています。

今回の結果では、Q1～Q6 の「教員努力」において多くの授業が高評価を得ており、これは各教員がアンケート結果およびその分析を踏まえ、授業改善に努めてきた成果であると考えられます。一方、Q7～Q9 の「学生努力」では、Q7 授業に臨む姿勢の高さと比較して、Q8 質問・調査努力や Q14 平均学習時間といった具体的な学習行動が低調な結果となりました。このことから、学生の学習意欲をさらに高めるためには、授業内容や授業方法に一層の工夫が求められていることがうかがえます。その他にも、詳細に結果をみていくことで、さまざまな授業改善のヒントを見出すことができます。教員の皆様におかれましては、ぜひアンケート結果を積極的にご活用され、今後の授業運営に役立てていただければと存じます。なお、以前からの課題ではありますが、残念ながら今回も回答率が 50%を下回りました。次回の調査では、より多くの学生の皆様にご協力いただけるよう、回答率向上に向けた取り組みを検討いたします。

今回の結果を真摯に受け止め、今後も教育の質の向上に努めてまいります。教員と学生が協力し合い、共に学びを深めていく環境を築いていけることを心より願っております。今後とも授業評価アンケートへのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。